



慶應義塾大学ビジネス・スクール

山村食器株式会社

山村食器株式会社（以下、「山村食器」）は、東急東横線綱島駅徒歩 10 分のところにある業務用食器の卸である。お店の歴史は浅いが、和食器、洋食器等豊富な品ぞろえを武器に、地元レストラン、老舗旅館等に対して売上のぼしている。

問題 山村食器の平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日より平成 22 年 3 月 31 日まで）に生じた以下の期中取引を仕訳して、総勘定元帳に転記しなさい。（日付と小書きは省略する。）次に、決算整理前合計残高試算表を作成してから、未処理事項の処理と決算整理を行って、帳簿を締め切り、繰越試算表を作成しなさい。さらに、繰越試算表と損益勘定にもとづいて、貸借対照表と損益計算書を作成しなさい。

- 注意事項
1. 金額の単位は便宜的に小さくしてある。
 2. 円未満の端数は切り捨てること。
 3. 仕訳に使用する勘定科目は次の通りとする。

現金	当座預金	受取手形	売掛金	貸倒引当金
繰越商品	前払金	前払保険料	手形貸付金	未収金
仮払金	現金過不足	建物	車両運搬具	備品
減価償却累計額	支払手形	買掛金	借入金	未払利息
未払金	未払法人税等	前受金	仮受金	預り金
資本金	繰越利益剰余金	売上	受取利息	雑益
貸倒引当金戻入	固定資産売却益	仕入	給料	貸倒引当金繰入
減価償却費	発送費	燃料費	旅費	賃借料
支払保険料	支払利息	手形売却損	雑損	固定資産売却損
法人税等	損益			

本ケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクール准教授 村上裕太郎が複式簿記の演習問題として作成した。ケース中の企業は架空のものである。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

Copyright© 村上裕太郎（2010 年 5 月作成）

1. 事務用のパソコン 10 台を購入し、代金 2,000,000 円のうち半額は小切手を振り出して支払い、残額は後日支払う約束である。なお、引取運賃 20,000 円は現金で支払った。
2. 営業用トラックのガソリン代 100,000 円を小切手で支払った。
3. 白楽陶器から、商品 8,000,000 円を仕入れ、代金は掛とした。
4. 当会計年度の商品倉庫、駐車場の賃借料 2,400,000 円を小切手を振り出して支払った。
5. レストラン元住吉に、商品を 4,000,000 円で売り上げ、代金は同社振出の小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。
6. ビストロ武蔵小杉に、商品を 5,000,000 円で売り上げ、代金のうち 2,000,000 円は同店振り出しの小切手で受け取り、残額は掛とした。
7. 新丸子旅館に、商品を 3,000,000 円で売り上げ、代金は掛とした。なお、先方負担の発送運賃 10,000 円については現金で支払った。
8. 日ノ出漆器店から、商品 5,000,000 円を仕入れ、代金は掛とした。
9. ビストロ武蔵小杉に対する売掛金のうち、3,000,000 円を同店振出の約束手形で回収した。

10. レストランテ自由が丘から、商品 2,000,000 円分の注文を受け、手付金 1,300,000 円を現金で受け取った。

11. レストランテ自由が丘に商品 2,000,000 円分を発送し、代金は手付金 1,300,000 円と相殺し、残額は掛とした。

12. 得意先新丸子旅館から、貸付期間 9 カ月（7 月 1 日から 3 月 31 日まで）、年利率 5% の条件で 2,000,000 円の貸付けを依頼されたため、同額の約束手形を受け取るとともに、利息分を差し引いて残額を小切手で渡した。（利息は月割計算）

13. レストラン元住吉に商品 6,000,000 円を売り上げ、代金は掛とした。なお、発送運賃 30,000 円（当社負担）を現金で支払った。

14. 1 年分の火災保険料 240,000 円を現金で支払った。

15. レストラン元住吉に対する売掛金のうち、5,000,000 円を同社振出の約束手形で回収した。

16. ビストロ武蔵小杉振出の 3,000,000 円の約束手形の期日が到来し、取引銀行から同額の入金があったとの連絡を受けた。

17. 日ノ出漆器店に対する買掛金の支払いのため、レストラン元住吉を名宛人とする為替手形 1,000,000 円を振出し、レストラン元住吉の引受けをえた。レストラン元住吉に対する売掛金と日ノ出漆器店に対する買掛金を相殺する。

18. 新規顧客開拓のための出張旅費概算額 180,000 円を従業員に現金で支払った。

19. 出張先の従業員から、沼津旅館振出の小切手 1,500,000 円が送られてきたが、どうい
う入金なのか確認できていない。

20. 出張中の従業員が戻り、沼津旅館振出の小切手 1,500,000 円は、商品 2,000,000 円の注文
に対する手付金であることが判明した。

21. 出張から戻った従業員の出張旅費を精算し、その旅費を 150,000 円、残額を現金と記帳した。

22. 実際の手許現金有高を調べてみると、現金勘定残高よりも 30,000 円少ないことがわかった。

23. 沼津旅館に商品 2,000,000 円分を発送し、代金は手付金 1,500,000 円と相殺し、残額は掛
とした。

24. 日ノ出漆器店に対する買掛金 3,000,000 円を同店を名宛人とする約束手形を振出して支払った。

25. レストラン元住吉振出の 4,000,000 円の約束手形を金融機関で割り引き、対価として
3,600,000 円を受け取った。対価はただちに当座預金とする。

26. 仕入先日ノ出漆器店から、10,000,000 円の融資を受け、同店振出の同額の小切手を受け取り、
ただちに当座預金とした。

27. 先の現金過不足 30,000 円を調査したところ、燃料費 10,000 円の記入漏れ、ならびに出張旅費 160,000 円を誤って 150,000 円と誤記入していたことが判明した。

28. 従業員に給料総計 5,000,000 円を支払った。うち、500,000 円を所得税源泉徴収額として控除する。給料は、当社の当座預金から、従業員の銀行口座へ振り込む。

29. 来年度の商品倉庫、駐車場の貸借料、2,400,000 円を小切手を振出して支払った。

ここで、決算整理前の合計残高試算表を作成する。

【決算日までに判明した未処理事項】

30. レストラン元住吉から受け入れた約束手形 1,000,000 円を買掛金の支払いのため、仕入先白楽漆器店に裏書譲渡していたが、未処理である。

31. 不要となった備品（取得原価 300,000 円、減価償却累計額（各自推算）円、間接法で記帳）を期首に処分し、売却代金 50,000 円は後日受け取ることにしたが、この取引が未処理である。

【決算整理事項】

32. 日ノ出漆器店からの借入金 10,000,000 円は、年利 7.3 パーセントの条件で、10 月 1 日に借り入れたものである。元利金は、平成 22 年 9 月 30 日に返済予定であり、金利は 10 月 1 日から発生している。金利は日割計算する。なお、平成 22 年は閏年ではない。

33. すでに支払済みの火災保険料 240,000 円は、平成 22 年 2 月 1 日から、平成 23 年 1 月 31 日までの期間に対するものである。保険料は、月割計算する。

34. 期末売掛金残高、期末受取手形残高、期末貸付金残高に対して、それぞれ 3 パーセントの貸倒引当金を設定する。

35. 当社の期末棚卸商品は移動平均法により評価する。下記の商品有高帳を参考にしなさい。
受入の単価は仕入値、払出の単価は売値である。

問題番号	受入数量 (枚)	単価 (円)	払出数量 (枚)
前期繰越	1,000	各自推算	
3	4,000	2,000	—
5	—	4,000	1,000
6	—	5,000	1,000
7	—	3,000	1,000
8	2,000	2,500	—
11	—	2,500	800
13	—	6,000	1,000
23	—	10,000	200

36. 当社の当期末現在保有している有形固定資産の減価償却方法は下記のとおりである。
(残存価額はすべて0とすること。)

	取得原価 (円)	取得日	償却方法	償却率 (利用度)
建物	10,000,000	平成20年4月1日	定額法	0.02
パソコン	各自推算	平成21年4月1日	定率法	0.625
トラック	5,000,000	平成20年4月1日	生産高比例法	(*)

(*) トラックの総走行可能距離は200,000kmで、前期走行距離は10,000km、当期走行距離は12,000kmである。

37. 決算日に至り、現金過不足の残額については原因が判明しなかった。

38. 収益と費用の勘定を損益勘定に振り替え、損益勘定残高を繰越利益剰余金勘定に振り替えたうえで、すべての勘定を締め切る。当社は、英米式決算法を採用している。なお、法人税率は40パーセントである。

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

現金

前期繰越 500,000

前払金

前払保険料

当座預金

前期繰越 5,000,000

手形貸付金

受取手形

前期繰越 700,000

仮払金

現金過不足

売掛金

前期繰越 800,000

建物

前期繰越 10,000,000

貸倒引当金

前期繰越 45,000

備品

前期繰越 300,000

繰越商品

前期繰越 1,000,000

車両運搬具

前期繰越 5,000,000

未収金

減価償却累計額

前期繰越 575,100

支払手形	
前期繰越	800,000
買掛金	
前期繰越	1,879,900
借入金	
未払金	
未払利息	
未払法人税等	
前受金	
預り金	
仮受金	
資本金	
前期繰越	各自推算

繰越利益剰余金	
前期繰越	1,000,000
売上	
受取利息	
仕入	
給料	
賃借料	
貸倒引当金繰入	

sample

sample

sample

sample

sample

減価償却費

損益

旅費

sample

sample

sample

sample

sample

燃料費

sample

sample

sample

sample

sample

発送費

sample

sample

sample

sample

sample

支払保険料

支払利息

手形売却損

sample

sample

sample

sample

sample

固定資産売却損

sample

sample

sample

sample

sample

雑損

法人税等

sample

sample

sample

sample

sample

決算整理前残高試算表

平成 22 年 3 月 31 日

(単位:円)

借方残高	借方合計	勘定科目	貸方合計	貸方残高
		現金		
		当座預金		
		受取手形		
		売掛金		
		貸倒引当金		
		前払金		
		手形貸付金		
		仮払金		
		繰越商品		
		現金過不足		
		建物		
		備品		
		車両運搬具		
		減価償却累計額		
		支払手形		
		買掛金		
		借入金		
		未払金		
		前受金		
		預り金		
		仮受金		
		資本金		
		繰越利益剰余金		
		売上		
		受取利息		
		仕入料		
		給借料		
		賃借料		
		旅費		
		燃料費		
		発送費		
		支払保険料		
		手形売却損		
		合計		

繰越試算表

平成 22 年 3 月 31 日

(単位:円)

借方	勘定科目	貸方
	現金	
	当座預金	
	受取手形	
	売掛金	
	貸倒引当金	
	繰越商品	
	前払金	
	前払保険料	
	未収	
	手形貸付金	
	建物	
	備品	
	車両運搬具	
	減価償却累計額	
	支払手形	
	買掛金	
	借入金	
	未払利息	
	未払金	
	未払法人税等	
	預り金	
	資本金	
	繰越利益剰余金	
	合計	

山村食器株式会社

貸借対照表
平成 22 年 3 月 31 日

区分	金額 (円)	
(資産の部)		
I 流動資産		
現金及び預金		
受取手形及び売掛金		
貸倒引当金		
商品		
前渡金		
前払費用		
未収金		
短期貸付金		
貸倒引当金		
流動資産合計		
II 固定資産		
1. 有形固定資産		
建物		
備品		
車両運搬具		
減価償却累計額		
有形固定資産合計		
固定資産合計		
資産合計		
(負債の部)		
I 流動負債		
支払手形		
買掛金		
未払金		
短期借入金		
預り金		
未払費用		
未払法人税等		
流動負債合計		
負債合計		
(純資産の部)		
I 株主資本		
1. 資本金		
2. 利益剰余金		
株主資本合計		
純資産合計		
負債純資産合計		

損益計算書

自 平成 21 年 4 月 1 日
至 平成 22 年 3 月 31 日

山村食器株式会社

区分	金額 (円)	
I 売上高		
II 売上原価		
1. 期首商品棚卸高		
2. 当期商品仕入高		
合 計		
3. 期末商品棚卸高		
売上総利益		
III 販売費及び一般管理費		
給 料		
賃借料		
貸倒引当金繰入		
減価償却費		
旅費		
燃料費		
発送費		
支払保険料		
営業利益		
IV 営業外収益		
受取利息		
V 営業外費用		
支払利息		
手形売却損		
雑損		
経常利益		
VI 特別損失		
固定資産売却損		
税引前当期純利益		
法人税等		
当期純利益		

sample

sample

sample

sample

sample

(計算用紙)

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

sample

不 許 複 製

慶應義塾大学ビジネス・スクール
